

2026 年 3 月 5 日

株式会社アマダ

アマダ土岐事業所が「ぎふ脱炭素トップランナー表彰」を受賞

99.8%のCO₂削減と先進的取り組みが高く評価



左: 岐阜県知事 江崎 禎英 氏

右: アマダ執行役員 土岐事業所長 吉川 裕



土岐事業所

株式会社アマダ(神奈川県伊勢原市、代表取締役社長執行役員:山梨 貴昭)の主要生産拠点である土岐事業所(岐阜県土岐市)、および同拠点内に所在する株式会社アマダツール土岐事業所は、「ぎふ脱炭素優良事業者」として認定されました。その中でもアマダの土岐事業所は、特に優れた取り組みを行う事業者として、岐阜県が新設した「ぎふ脱炭素トップランナー表彰」を受けました。これに伴い、2026年2月20日に岐阜県庁にて表彰式が執り行われましたのでお知らせします。

「ぎふ脱炭素トップランナー表彰」は、岐阜県が県内の事業活動に伴う温室効果ガス排出抑制を促進することを目的に、先進的な取り組みを行う事業者を表彰する制度です。

アマダの土岐事業所は、サプライチェーン排出量の算定やカーボン・オフセットの実施に加え、温室効果ガス排出量を令和3年度比で99.8%削減した成果などが高く評価されたことにより、今回の選定となりました。

設備面では、安価な深夜電力で蓄えた冷温熱を日中のピーク時に供給する「堅型水蓄熱槽・循環システム」を運用しているほか、事業所内の全照明をLED化し、センサーを用いた照明集中制御システムを導入することで大幅な電力量削減を図っています。さらに、再生可能エネルギーの導入も加速させるため、2026年1月よりオンサイトPPAモデルを導入し、従来の300kWの太陽光発電設備に加えて新たに1,875kWを増設しました。これにより、展示・商談施設を備えるテクニカルセンター棟においては、年間消費エネルギー量を上回る創エネを行い、自給率111%という高い実績を達成。自給したクリーンエネルギーで全消費電力を賄うことで、実質的な「カーボンニュートラル」を実現しております。

アマダグループは、自社拠点における環境負荷低減を加速させるとともに、製品の省エネ性能向上を通じて、お客さまの製造工程における脱炭素化を支援してまいります。

ご参考

以下サイトにて、脱炭素社会への実現に向けた取り組みをご覧ください。

<https://www.amada.co.jp/ja/sustainability/environment/decarbonization/>

以上

※ 掲載の情報は予告なく変更される場合があります